

# 「行動医学研究」投稿規定

(2019年1月1日現在)

1. 本誌は、行動医学に貢献する論文（総説、原著、症例報告、資料および短報）で、他誌に発表されていないものを掲載する。
2. 投稿者は、本会会員に限る。共著執筆者も会員であることを要する。ただし、編集委員会からの依頼論文の場合は除く。
3. 論文の採否は、原則として独立した2名の専門家によって査読され、編集委員会が最終的に決定する。
4. 人を対象とする研究報告はヘルシンキ宣言（1964年採択、1975年修正、1983、1989、1996、2000、2002、2004、2008年改訂）の精神に則ったものでなくてはならない。
5. 実験動物を用いた研究報告は、各施設の動物実験指針に則って行われたものとする。
6. 本誌に掲載された論文等の著作権は日本行動医学会に帰属する。
7. 原稿の様式は次のとおりとする。
  - (1) 原稿は和文または英文とする。
  - (2) 原稿の表紙には表題、著者名、所属機関名、代表著者の通信先（以上和英両文）、原稿の種類、表および図の数を書く。
  - (3) 原稿は原則としてMicrosoft Wordを用いA4判用紙30字×25行（750字）横書きとする。短報以外の論文には、英文抄録（200語以内）および和文要旨（A4用紙2枚・1,500字以内）を、短報には和文要旨（同、750字以内）をつける。
  - (4) 英文原稿の場合も短報以外の論文には、英文抄録（200語以内）および和文要旨（A4用紙2枚・1,500字以内）を、短報には和文要旨（同、750字以内）をつける。
  - (5) 英文はすべてA4判用紙にダブルスペースでタイプする。
  - (6) 原稿の各ページの左側に行番号を入れる。
  - (7) 短報以外の原稿枚数は図表を含めておよそ20枚以内、短報では5枚以内とする。
  - (8) キーワード（英語で10語以内）は、総説、原著、症例報告、資料では英文抄録のあとに、短報では表紙の英文タイトルのあとにつける。和訳を、和文要旨のあとにつける。
  - (9) 図、表は原則として英文とし、図の表題は別にA4判用紙にダブルスペースでタイプする。また、本文中に図表が挿入されるべき位置を明示しておく。写真は、白黒では1,200dpi、グレースケールでは300dpiの解像度を必要とする。
  - (10) 引用文献は、引用順に番号をつけて最後に一括し、下記の記載例の形式で記す。本文中にも、「知られている<sup>1)</sup> または、…<sup>2)</sup>、<sup>3)</sup>、…<sup>1-5)</sup>」のように文献番号をつける。著者が7名以上の場合は最初の3名を記し、あとは「他」（英文ではet al.）とする。

## 【記載例】

〈学術雑誌〉 著者名. 表題. 雑誌名 発行年（西暦）； 巻: 頁-頁.

- 1) 岡村尚昌, 津田 彰, 矢島潤平, 他. 睡眠時間は主観的健康感及び精神神経免疫学的反応と関連する. 行動医学研究 2009; 15: 33-40.
- 2) 田川隆介, 保坂 隆, 大須賀 等, 他. A型行動パターンと虚血性心疾患—冠動脈所見における検討. 心身医 1984; 24: 203-8.

- 3) Shimazu A, Schaufeli WB, Taris TW. How does workaholism affect worker health and performance? The mediating role of coping. *Int J Behav Med* 2010; 17: 154–60.
  - 4) Nakata A, Takahashi M, Haratani T, et al. Association of active and passive smoking with sleep disturbances and short sleep duration among Japanese working population. *Int J Behav Med* 2008; 15: 81–91.
- 〈単行本〉 著者名. 表題. 編者名. 書名. 発行所所在地: 発行所, 発行年 (西暦): 引用頁–頁.
- 5) 鈴木仁一. 循環器系. 樋口正元編. 情動のしくみと心身症—基礎から臨床まで. 東京: 医歯薬出版, 1982: 59–63.
  - 6) Kasl SV. Stress and disease in the workplace: a methodological commentary on the accumulated evidence. In: Cataldo MF, Coates TJ, eds. *Health and industry: a behavioral medicine perspective*. New York: John Wiley & Sons, 1986: 52–85.

上記の記載例は、Uniform Requirements of Manuscripts Submitted to Biomedical Journals (1993) に準じた。雑誌名の略記は、次のWEBサイトなどで確認すること。

<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>

8. 査読終了後、最終原稿提出時には表紙、本文、引用文献、図表ともにオリジナルファイル (MS-Word、Excel、PowerPoint 等) を添付する。
9. 著者校正は1回とする。
10. 原稿は、原則として電子メールにより投稿すること (2013年3月より)。原稿は、すべての内容 (表紙、本文、引用文献、図表を含む) を1つのPDFファイルにまとめ、編集事務局宛 (jjbm2020edit@gmail.com) に送付すること。

**【投稿ならびに問合せ先】**

〒160-0011 東京都新宿区若葉2-5-16 向井ビル3F (株)ヒューマン・リサーチ内  
日本行動医学会「行動医学研究」編集事務局宛  
TEL:03-3358-4001 FAX:03-3358-4002

11. 投稿の際に著者全員は、発表内容に関係する企業・組織や団体との投稿時から遡って1年間の潜在的利益相反 (COI) 状態の有無を、「日本行動医学会誌 自己申告によるCOI報告書」 (様式1) に記載し、理事長に郵送ないし電子メール添付 (PDFにスキャンした様式1) で、提出する。様式1は学会ホームページからダウンロードすることができる。

**【自己申告によるCOI報告書の提出先】**

〒160-0011 東京都新宿区若葉2-5-16 向井ビル3F  
(株)ヒューマン・リサーチ内  
日本行動医学会事務局宛  
TEL:03-3358-4001 FAX:03-3358-4002  
e-mail : jjbm2020edit@gmail.com